



# 尾久八幡

令和4年度9月号  
令和4年9月14日発行  
荒川区立尾久八幡中学校  
校長 近江 貞之

## 生徒を育む学校

校長 近江 貞之

3年ぶりに各部活動の夏季大会を参観することができました。新型コロナウイルスの影響で一昨年度は中止、昨年度は無観客の開催でしたが、制限はあるものの今年度は3年ぶりに観客を入れての大会となりました。

夏季大会は、3年生にとって2年間の集大成となります。少しでも勝ち上がり、上位の大会の出場を目指して頑張ってきました。部活動は、生徒の努力が第一となりますが、その陰には家庭の支援・協力、顧問の指導・支援等があります。そのため、夏季大会期間中は、生徒・保護者の皆様・教職員は、勝敗だけでなく、それぞれの立場で多種多様な思いが交錯します。

勝敗や賞にこだわりながら技術を向上させるとともに、生徒の家族や友達、顧問などに感謝する心、仲間と協力し合う心の成長も願っています。成果だけを求めるとしたら、最後まで負けずに勝ち続けて終わるのは、全国優勝するただ1校だけになります。勝ち負けだけの結果であるならば、負けたことや望んだ賞に届かなかったことは、「何も残るものがなかった」ことになってしまい、2年間の時間と努力は無駄なことになってしまうからです。

終了する時は必ずやってきます。その時、私は、生徒・ご家庭ともに「本校で部活動をやってよかった。」「やらせて良かった。」とさせていただき、顧問には「やれることはやり切った。」と感ずることを願っています。

本年度は、観戦が許されたため、多くの部活動の最終戦に立ち会うことができました。本校の生徒には、負けてしまった時に涙を流しながら、今までの活動を振り返り、仲間を称え、保護者や顧問に感謝の気持ちを伝える姿がありました。見ているだけの私も感動し、涙が流れました。このように、感動的な場面を迎えることができたのは保護者・地域の皆様のお陰です。改めて、本校の教育方針にご協力・支援いただいたことにお礼を申し上げます。

本校は「文武両道」「礼節・品格」を校訓として掲げ60年間、その信念を揺るがすことなく教育を進めてまいりました。教育目標のもと、今後も校訓を進め、本校の教育を進め、生徒の育成を進めてまいります。

改めて、中学校生活の3年間を考えると、3年生は目指した進路を獲得する収穫の年、2年生は目標に向かって努力し成長していく年、1年生は自分のことを理解して進むべき道を模索する年と言えます。また、1年間で考えると、1学期は種まき、2学期は育成、3学期は収穫の時期になり、どの学年にとってもこの2学期は重要になります。

2学期は最高気温30度を超える昨今から、最低気温が氷点下になることもある年末まで続く長い学期です。その時間を有意義に使って、部活動のように最後まであきらめずに目標に向かって努力を積み重ねることを願っています。先程も述べたように、各学年ともにこの2学期は大切な期間ですが、特に3年生は目指す進路に向けてとても大切な期間となります。

目標を達成するため、まずは体調に留意して学校生活に励みましょ。新型コロナウイルス感染者が校内で多数出ると、教育活動の中止や縮小を行うことになるかもしれません。有意義な教育活動を継続するためには学びを止めないことが第一です。

卒業するときに「本校を選択し、通わせてよかった」と思っただけけるよう、本校教職員は、生徒を成長させるため全力で教育活動を進めてまいります。引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

# 2年生が9/5(月)~7(水)で下田移動教室に行ってきました



## 9月行事予定

日	曜	行事等	給食
14	水	荒教研(教科)	○
15	木		○
16	金	水泳指導終 立会演説会リハーサル	○
19	月	敬老の日 	×
20	火	生徒会役員選挙 	○
21	水		○
22	木	荒川区連合体育大会(江戸川陸上競技場) 	○
23	金	秋分の日 	×
26	月	全校朝礼	○
27	火		○
28	水		○
29	木	生徒会委員長選挙リハーサル	○
30	金	生徒会委員長選挙 	○